

グリーンカーテンの作り方

エコロジーの面からも注目されているグリーンカーテン。ご家庭で簡単に作れます！
今年グリーンカーテンを作って夏を乗り越えましょう！

グリーンカーテンとは？

つる性の植物を陽の当たる窓辺などで育て、室内の日差しをさえぎる言わば自然のカーテン。
葉の水蒸気で室内温度が下げられ、快適に過ごすことができます。
また、夏にかけてどんどん成長するので、つる性の野菜で作れば、収穫の喜び、食べる喜びも味わえます。



グリーンカーテンの特徴

夏季の太陽光の遮断や断熱が主な目的ですが、目隠しや植物観賞としてもおすすめです。また、のれんやブラインドと違い、外から日差しをカットすることができます。
生育観察、収穫などの目的から、キュウリやゴーヤ、学校等ではアサガオが用いられています。



キュウリ



ゴーヤ

1 土作り

まず、野菜専用の深いプランターに鉢底石を敷き、よくならしておきます。



次に、別個の容器にてグリーンカーテン用の土に専用の肥料を加え、よく混ぜ込みます。(肥料は1回与えるだけで長期に収穫ができます。)



最後に肥料を混ぜた土をプランターに入れます。根が張るのでたっぷり入れましょう。

2 ゴーヤを植える

少し深めに掘り、ポットの土と同じくらいの高さに植え付けます。苗同士が近くなりすぎないように、40~50cm空けて2本植えます。



3 支柱立て

最初はネットに届きにくいので、苗の脇に支柱を立てます。この時、根をいためないようにしましょう。こうすることで、ツルが支柱にからまり、大きく伸びます。ビニールタイで輪を作り、緩めに苗と支柱とを結んであげれば倒れる事もなく安心です。



■管理方法

- ・本葉が5~6枚になったら親ヅルの先をちぎります。
- ・親ヅルの先端を止めることで、子ヅルがたくさん成長し、ツルの枝数が増えてカーテンの幅を広げることができます。子ヅルにも実が成りやすいです。
- ・子ヅルが沢山出てきたら週に1回程度、方向を修正するときれいなカーテンになります。
- ・肥料は月に2回、追肥として野菜専用肥料をあげましょう。
- ・受粉後、実は15~20日くらいで収穫できます。収穫は早めにおこなうと美味しい実が採れます。
- ・ネットを有効活用しましょう。

Howtoナビ

動画でもっとわかりやすく！
暮らしに関するHowto情報を動画で配信中。



How To 情報

コメリドットコム「HowTo情報」には、DIY情報、住まいや暮らしに役立つノウハウが満載です。

